

「在宅就労セミナー 2023」開催

社会福祉法人東京コロニー 東京都葛飾福祉工場
〒125-0042 東京都葛飾区金町 2-8-20

助成事業の概要

毎年実施しているこの研修事業は、重度障害のある人たちに対して、在宅での就労機会を提供し、新たなワークスタイルの可能性を開くことを目的としている。通信技術の進化により、在宅勤務が可能になりつつある現代において、障害のある人たちが自宅で働くことは大きな追い風となっている。法改正により、在宅就業障害者への支援も拡充されており、就労支援事業所も在宅就労を支援する体制を整えている。今回の「在宅就労セミナー2023」は、「ChatGPTで変わる世界」をテーマとして、以下の内容で開催した。

実施日 2023年11月22日 (水) 13:00~15:00

形式 都内会議室 (中継拠点)およびオンラインによるハイブリッド形式

内容 セッション1 報告「在宅就労グループes-team2022 年度活動報告」

セッション2 講演「ChatGPTで変わる世界」

講師 蔵元 達志氏 株式会社セカンドファクトリー

参加者 在宅就労者、これから在宅就労を希望する人、支援団体関係者等30名 (会場6名含む)

事業の成果

本事業を通じて得られた成果は、参加者にとって具体的な学びの機会となったことにある。特に、AIによる生成ツール「ChatGPT」を使用することで開かれる新しい就労の可能性に関する理解を深めることができたことは主要な成果である。セ

ミナーでは ChatGPT の基本操作から始まり、画像入力機能やプラグインを用いた高度な使用方法まで幅広く紹介された。これにより、参加者は AI 技術が就労環境に与える影響を直接学ぶことができた。

セミナーの中で特に強調されたのは、ChatGPT が提供する自動化と効率化の潜在性であり、これは、作業速度の向上や作業範囲の変化といった具体的な利点を示し、その結果として新たなスキルセットの必要性が浮かび上がってきた。さらに、ChatGPTを効果的に利用するためには、適切な指示の出し方や技術に関する深い理解が必要であること、過度に依存することのリスクも、講師によって強く指摘された。セミナーを通じて、参加者たちはChatGPTを利用した業務の変化やそれに伴う適応方法についての理解を深めることができた。同時に、テクノロジーの急速な発展に適応するための自己学習の重要性も認識することとなった。ChatGPTの出現が社会や職業の在り方をどのように変えるのかについての洞察も共有され、これが参加者にとって、今後自身がどのように進化していくべきかを考えるきっかけを提供した。本事業は、新たな技術を活用して就労のあり方を探求する貴重な機会を参加者に提供したといえるChatGPTをはじめとするAI技術が就労における革命をもたらす可能性について、具体的なイメージを形成することができたという参加者の声は、参加者が技術進化の波に乗り遅れることなく、変化する社会に適応し続けるための知見と自信を提供するという大きな成果を得たといえる。

成果の広報・公表

本事業の成果は、重度障害のある人の在宅就労というワークスタイルの社会的認知度の向上と、参加者への具体的な技術提供にあり、そのことを毎年度継続してきた。今年度は、ChatGPT を活用した新しい就労形態の理解を深め、障害のある人々の就労の場の多様化への寄与をめざした。本事業を通じて、ChatGPT の基本操作から応用技術までが紹介され、参加者は AI 技術を用いた仕事の効率化や可能性について学んだ。さらに、ChatGPT のプラグイン機能により、最新情報へのアクセスや特定分野での深い知識が求められる作業に対するサポートが可能であることが示された。これらの成果は、セミナー後の質疑応答セッションや参加者との意見交換も相まって深みが増したといえる。

今後の展開

本事業の実績は小規模ながら各方面から高い評価を受けてきた。今後在宅就労の推進や障害者就労支援の重要性を社会に広める上で、重要な役割を果たしていきたいと考えている。特に、AI 技術を活用した在宅就労の可能性に注目が集まっており、今回のテーマを通じてその実現性や効果を更に検証し、具体的な支援策を開発していきたい。関連する業界や専門家との協働を深め、在宅就労に関する知識や技術の共有、それを支える環境整備に力を入れていく。また、セミナーの開催を継続し、ChatGPT などの最新技術を用いた支援方法の普及にも注力する。これらにより、障害がある人たちが在宅でより効果的に仕事をするための環境を整えていきたい。さらに、この取り組みが社会における障害者の就労に対する意識改革を促進し、多様な働き方が認められる社会の実現に貢献することを目指す。